

第26回日本組織適合性学会大会・市民公開講座

激甚災害における アカデミアの 連携と地域復興

わが国は、これまで多くの激甚災害を経験し、被災地はその想像を絶する苦難をさまざまな人々との連帯と協働によって克服してきた。今回のシンポジウムでは、その中で、大学をはじめとする研究学術機関が地域の復興にどのような役割を果たしてきたのかを振り返るとともに、被災した学術機関を支援するために被災地の外部にある学術機関はどのように被災地との連帯ができるのかを市民の皆さんとともに考えてみたい。

日時

2017年 10月 29日 日 10:45 ~ 12:30

会場

JMS アステールプラザ 4階大会議室
〒730-0812 広島県広島市中区加古町 4-17

司会

一戸 辰夫 (広島大学原爆放射線医科学研究所 血液・腫瘍内科研究分野)

西村 泰治 (熊本大学生命資源研究・支援センター)

Program

基調講演

大災害発生! 地域復興に対して大学は何ができるのか?

廣橋 伸之

(広島大学原爆放射線医科学研究所 放射線医療開発研究分野)

講演1

東北大震災と広島土砂災害は何を教えたか

～救援ボランティアから見た課題～

嘉陽 礼文

(広島大学国際室)

講演2

熊本地震後の大学病院の復興と地域医療機関との連携

松井 啓隆

(熊本大学医学部附属病院 中央検査部)

特別発言

学術研究は災害や復興に役立つのか?

～原爆からの広島復興を振り返って～

久保田 明子

(広島大学原爆放射線医科学研究所 附属被ばく資料調査解析部)



共催：広島大学原爆放射線医科学研究所

連絡先：第26回日本組織適合性学会大会事務局 (jshi2017@hiroshima-u.ac.jp)

広島市南区霞一丁目2-3 広島大学原爆放射線医科学研究所 血液・腫瘍内科内